

ブッコロシたく……え、ぶっそんなこというなって？ 会ったばかりなのにいきなり説教かい。

ていうか、誰よ、おにいさん。

ま、いいや、いわなくてもわかる。あれっしょ、ジャ、ジャリズム……あ、ちがうか、それは「3！」だっつーの、ふふっ、3の倍数と3のつく数のときアホになるウ。えっつと、そうじゃなくて、ジャ、ジャーナリストってやつでしょ。あ、ライターっていったほうがいいの？ ふーん、でも、そういう人にしては、けっこうイケメンじゃねー？

いままであたしのとこにきた人って、アブラくさいオジサンとか、目がつりあがってるオバサンとかだったりしたよ。つーか、人のこと嗅ぎまわる的な仕事してると、人相もわるくなるんじゃない？

おにいさん、このマンションの前で、あたしが出てくるの待ってたの？ ずっと？ あ、なーんだ、二時間ぐらいなのか。運よかったね。うん、いま、あたし、チョコ食べたくなって、コンビニいこーって、出てきたんだもの。

こないだのアブラくさいオジサンなんか、丸二日張ってたとかいってたよ。え、アブラくさいってどういうのかって？ あのね、鼻とか唇とかテカテカしてて、揚げ物を何度もくりかえした油みたいなおいがあるの。そのオジサンは煙草もよく吸ってたけど、ライターでジュポって点けるたびに、鼻とか唇に火がボワッって燃えうつるんじゃない

かって、あたし、ちょっとびくびくしてたんだ、ふふっ。

学校？ うん、「3！」学期始まってるけど、まだいてない。でも、来週からいくつもり。興味本位な目で見られるのわかってるけど、しゃあないじゃん。

想像してたより元氣な子だねって？ へーえ、どんな想像してたの。それに、ほんとに元氣かどうかなんてわかんないじゃん。人間なんてみんな、演技して生きてんだからこの世にあるものの大部分は、うそっぽちっていう細胞でできてるんだ。あ、ほらもうコンビニだよ。

——ウイーン

「イラッシャイマッセー」

え、なに？ 例の彼の話をかかせてくれて？

すげー単刀直入だね。フツーは、もう少しあたしのごきげんとかとってから、そういうのって、きくんじやないの。別にまあ、話してもいいけど。じゃ、じゃあ、どこいく？ アブラオジサンは環七沿いのファミレスで、目玉焼き乗せたハンバーグ食べさせてくれたし、つり目オバサンは駅ビルのカフェで、ケーキセットおごってくれたよ。

でもあたし、ほとんどなんもしゃべんなかったけど。だって、アブラオジサンの目は黄色く濁ってたし、つり目オバサンの肌はブツブツだった。二人ともきれいじゃなかったんだよね。あたし、そういう人に、なんか、胸のうちとかいうの？ 話したいって思わないもん。ま、ブサイクな